

熊本県議会による「国の喫煙率低減目標」への反対議決に関するアンケート調査
自由意見記載事項一覧

(1) 主に県議会議決に対する「反対」意見

熊本県民として、また有権者として、反対議決をするがごとき議員がいることを恥ずかしく思います。(80歳、男性)
熊本県議会の意見は同意できない。熊本県民としてはずかしい。(42歳、女性)
県議会議員の中で誰が、どの会派が、反対しているのか広く公表すべきだと思います。(57歳、男性)
「健康より金」には本当に怒りです。(47歳、女性)
水俣病問題と同様、チソを守るために患者を認めないのと同じである。農家を守って、呼吸器疾患の患者のみならず、健康な人にも害をなす。タバコ生産者の保護により、喫煙者数の減少を阻止し、受動喫煙が増えるサイクルになる。(36歳、男性)
「原子力むら」ならぬ「タバコ三業むら」の存在を説明するかのよう論旨に憤慨しています。いまや、分煙ではなく、禁煙でなければ受動喫煙は不可能であり、薬物乱用や非行の入り口として、青少年の健全育成においてもタバコの有害性を取り上げます。また、愛煙家というよりはニコチン依存症患者としてみるべき割合が多いとの専門家の意見もある中で、この「反対議決」は県民の健康生活をする権利を害するともいえます。(46歳、男性)
受動喫煙は非喫煙者に影響を与えるため、大きな問題と思う。家族は農業で、近年までタバコを耕作していたが、転作を行う際、補助金は交付されず転作している。補助金はなくとも転作できる。必要ないと思う。(58歳、女性)
熊本県民として反対議決をしたことが恥ずかしく、残念に思います。子供たちにはタバコの煙を吸わせたくありません。(37歳、女性)
県議の身勝手に損得しか考えない議決である。(50歳、女性)
安全・安心な熊本のイメージを損なうもの。時代錯誤。(60歳、男性)
熊本県議会の反対議決理由の「葉タバコ耕作全国一の産地であること」は自慢にも何にもならないと思う。むしろ、健康を害するタバコは絶対減らしていくべきです。将来日本の人口は減るばかりとされている中、喫煙・受動喫煙をなくして、がん予防対策を徹底すべきだと思います。(74歳、女性)
煙草による健康被害を真剣に議論し、全体的に住みやすい熊本にして頂きたいと思います。親の悪習慣が子供に与える影響を真剣に考えるべきだと思います。(46歳、男性)
禁煙は大切。健康のためにも大いに必要。(40歳、女性)
タバコ農家の転作・転業を進めることが、熊本県の大きな課題だと感じます。(26歳、女性)
行政は喫煙率の低減を目指すべき、自分の収益にとらわれるのは浅はか。(48歳、女性)
熊本県議会の意見書は、時代に逆行するものだと思う。(52歳、女性)
県民の健康を無視した議決であり、全く容認できない。県の厚生委員会メンバーの交代も視野に入れたい。(54歳、男性)
タバコ農家の生活、タバコ税収の減収、飲食店での売り上げの減少が理由で禁煙に反対しているなんて今の中ですら考えられない。葉タバコ農家への転作援助は必要。(54歳、女性)
タバコの売り上げが減少しており、多角化を行っている現状からしてもタバコ産業に将来はなく、もっと早期に転業・転作対策を行うべきであったのに、自らの無策を棚上げにして、反対はおかしい。(47歳、男性)
県民の健全な生活を指導する立場にある県議会の反対議決は憤りを感じます。目先の経済効果(タバコ農耕者

に対する)にとらわれず、転作に補助金を出す等して農業は守れると思う。タバコを無くすことを努力してほしい。(76歳、女性)
所詮、政治家は票が欲しいだけ。そして、自分の喫煙を守りたいだけ。県民全体の健康など興味がない。常に言い続けるしかない。(58歳、男性)
県民の健康を第一に考えて決議してほしい。喫煙の害をもっと広報し、良い流れにもっていくのが議員の仕事ではないかと思います。(62歳、女性)
葉タバコ耕作以外では地域農業が支えられないような錯覚を与える策は、県民を惑わす愚策である。(75歳、男性)
生命が第一です。世界各国で喫煙率低減運動がなされています。日本も経済大国であり、しかも先進国。日本としてこの運動を国民の生命を守ることに、国をあげて展開すべきである。(79歳、男性)
県議会の議決理由は「当てつけ」のように感じます。(35歳、女性)
国の低減目標・国民の健康維持という高い目標に対し、熊本県議会の反対議決の理由が理解できません。一部の利益のために、命を渡せません。(62歳、男性)
県議会は一見もっともらしい理由を挙げているがまったく説得力なし。喫煙率を下げる意志などみじんも感じられない。熊本県議会の意見は、本来税の考え方として本末転倒。葉タバコ・タバコ販売店へ支援をするが、それは議会や政治の役割。「禁煙にすると客が減る」は認識の誤り、禁煙にすると結果的に客は増える。「健康、命より金が大切」の恥ずかしい決議。(49歳、男性)
経済より人の命が大事。(年齢不明、女性)
超保守県らしい決議と思う。人命以上に大事な産業があるのか？ 原発問題を彷彿とさせる決議である。(49歳、男性)
タバコ農家の生計は重要とは思いますが、健康という大局的見地から転業支援を拡大すべきと思う。(70歳、男性)
県議会は人の健康よりお金を優先するということですよ。農業立県の熊本としてはそうせざるを得ないのかなとも思いますが、国が本気で取り組むならタバコは違法薬物と位置付けるくらいないとだめじゃないでしょうか。(43歳、女性)
ふとどき者めら。(53歳、女性)
タバコ税が重要な財源というより、タバコによって医療費が増加しているため、禁煙による医療費抑制効果の方が大きい。(29歳、男性)
間違った判断は訂正し、再検討して欲しい。(51歳、女性)
時代に逆行した議決だと思う。国の方針に反対すること自体恥ずかしい内容だと感じました。(39歳、男性)
農家の生活については、栽培する作物を変更することを誘導し、補助金を数年間出すようにすればよい。(40歳、男性)
県議会は頭が悪いと思う。(39歳、女性)
今回の議決は論外です。(25歳、女性)
タバコ税に頼らないといけない自治体の体制を見直すべき。(36歳、女性)
農家への取り組み(転作・転業支援)を優先すべきだと思います。(37歳、男性)
目前のことしか考えていない浅はかな反対議決。ばかげている。結果的に支援が無くとも廃業すべきである。壊れ窓の法則で、タバコは作っても良い、ということを許し続ける国ならば核も作る。犯罪の多い県になるであろう。減らす計画ではなく、なくす計画にすべきである。(39歳、男性)
県民の代弁者たる県議会が、選挙のことだけを考えた議決であり、県民の健康福祉を考慮していない愚かな議決である。(48歳、男性)



無責任。(47 歳、男性)
反対議決をしていたことを知らなかった。県民が知れば大きな問題となり、はずかしいことである。情報を拡散したらどうかと思います。(35 歳、男性)
健康の問題から禁煙を推進すべきと考えます。(55 歳、男性)
県議会がなぜ反対なのかわからない。(34 歳、女性)
がっかりした。是非、心を入れ替えて賛成に変わってほしい。(50 歳、女性)
反対決議は、県民全員の意見ではない。タバコは日本で製造しない方が良い。(55 歳、女性)
国民の健康に寄与するための目標に対し、選挙（母体が JA）、税収入目的での反対は、法律に抵触するのではないか。(50 歳、女性)
喫煙率低減の目標数値をもっと低くしてもよいのでは。県としてはタバコ農家、財政等考えられたのですが、県民の健康被害を後回しにされた気がして不愉快。受動喫煙させられる立場としては、喫煙は公の場所では禁止して欲しい。(62 歳、女性)
県議会が喫煙率低減に反対する意味が分かりません。(20 歳、男性)
喫煙は健康を害することが医学的にも解っているのにそれを反対するのは甚だ疑問である。タバコにより生計を立てている関係者に関しては、議論を重ねそれなりの援助を国や自治体がするという必要であると思う。経済の為、それによって生計を立てている関係者の為に喫煙推進もしくは現状維持というのは、原発がどんなに危険でも今必要であるから稼働する、というのと同じ論理ではないか。人類の将来を見据えた決定をすべきである。(44 歳、女性)
転作支援のもと、率先して喫煙率低減を目指していただきたいと思います。(31 歳、女性)
県によるものより、国の支援・方針が必要。国が中途半端に低減より、ゼロにする方向で、JT や農家を支援しながらゼロにする。タバコは「麻薬」と考える。(60 歳、男性)
タバコでの健康被害は子供でも知っており、また禁煙したいと思いながら喫煙を続けている人も多いと思います。今回の反対議決にはがっかりです。苦も元（熊本）県の破棄（恥）だと思います。(61 歳、女性)
国と県とで話し合っってよりよい方法が出来るように願います。(72 歳、女性)
県議会は税収うんぬんのことを言っているが、喫煙による健康被害によって生じる医療費のことを考えると禁煙を目標にした方がよいことは明らかではないか。(29 歳、男性)
喫煙は個人個人の自由な選択としているが、非喫煙者は選択していないのに煙を吸わないといけない。タバコは、嗜好品扱いしといたらダメなものだと思うので、県議会の議決は大変滑稽である。(34 歳、男性)
タバコが重要な財源であるのは理解できるし、販売や農家及び飲食店においては死活問題になるのは充分わかりますが、喫煙における被害（本人だけでなく周囲への悪影響）を考えると、自分たちの不利益のことばかりの議決、理由のみの提示だと説得力に欠ける。(34 歳、女性)
反対するだけでなく、今後いかにサポートしていくかを考える時期に来ている。(49 歳、男性)
健康な生活が目標となっている現代、時代に真っ向から逆こうする決議であり、容認できない。(68 歳、男性)
煙草の害について、国及び県は教育によって周知し、より改善する方向に進めていくことが必要と考えます。「目指せ 0%」の目標を掲げてみたらどうでしょうか。(55 歳、女性)
熊本県民としてハズカシイ。(54 歳、男性)
県民の身のことはどうでもいいのか？健康を最優先すべき。(50 歳、男性)
喫煙が原因で身内を亡くした者として、タバコの存在自体を無くしたい思いで一杯です。(47 歳、男性)
タバコ農家の支援も重要ですが、明らかに有害なものを放置しておくということが考えられない。医療費の削減といいながらどういうことでしょうか。(51 歳、女性)

人体に悪影響があると証明されている限り、国の定めは正論だと考えられ、それに伴いタバコ農家などの生産者にはある程度の支援を実施し、他の生産を促す必要性がある。(40歳、男性)
タバコで仕事をしている方へのサポートをしっかりするのなら、議会は反対しなくてよいのでは？(46歳、女性)
タバコ自体は悪いので、吸う人と吸わない人がいるけれど、県全体としては反対するのはおかしいと思う。(46歳、男性)
体に悪いとわかっているタバコを保護するのはおかしい。(50歳、男性)
自己中心的。選挙目的。すごく遅れている。原発の電力会社のような対応。(45歳、男性)
公共施設での全面禁煙が、熊本県はまだだと感じている。この県の姿勢がそうさせているのかと思うと非常に残念。なぜ街を歩くときや公共施設で受動喫煙を受けないといけないのかが疑問。県議会は反対議決を撤回して欲しい。(40歳、女性)
飲食店の喫煙ゼロにすべきである。タバコが有害なのは明らか。国民の健康は国策です。タバコの税収(自分の収入)が心配なのでしょう。(53歳、男性)
害にしかない煙草は厳しく規制すべき事。ドラッグと一緒になのになぜ甘いのか？(31歳、男性)
県議会の反対議決はタバコ農家を考慮しての決議と思うし、選挙のことを考えてのものと思う。タバコ農家の転作を支援すべき。(84歳、男性)
県議会は世界の流れに従うべきである(すでに遅い)。(43歳、男性)
熊本県議会はほかにすることがあるのでは。(41歳、男性)
票のためにタバコ農家を守るのではなく、喫煙率低減目標を達成することと転業できる環境を作ることが大事だと思います。(46歳、男性)
一般財源についてはタバコ税以外での確保も可能では？タバコ税以外での財源確保の支援を策定してほしい(30歳、男性)
県民の健康を重視し、タバコ農家への転作支援を考えるべきだと思います。(48歳、女性)
国家予算に占める医療費の高さから、健康管理を優先するべき。(56歳、女性)
県議会の反対議決に理解できない。タバコ税より禁煙で医療費を減らすことを考えるべき。(26歳、女性)
体に悪いと思うし、科学的根拠もあるのに禁煙にどうしてしないのか。(23歳、男性)
タバコ農家の生計の立て方を援助すべき。農地の転用等。(55歳、男性)
一部の利益の為の反対議決と思いますが残念です。タバコ農家への支援は必要と思います。(58歳、男性)
禁煙は大事なことだと思う。タバコ農家・販売店の方々の生活支援を考えてほしい。身近にタバコ農家がいるので実際どのような支援になるのか興味があります。(25歳、女性)
選挙のための反対議決なのか？国も県もタバコが本当に有害とするなら喫煙率をゼロにするべきだし、売らないようにすればよい。有害なものを売り続けるのにはどんな意味があるのか？税収？国も県も中途半端。(44歳、女性)
目先・一部の利益を重視している。吸わない人が多い状況で理解できない。また県として「喫煙率低減」とし、何か対策を実施すべきである。加えて個人としては、喫煙者と非喫煙者が同じ医療費を負担するのもおかしいと考える。好んで病気になった人とそうでない人が同じ負担率では割に合わない。(44歳、男性)
健康に過ごせる社会づくりを目指したい。(58歳、女性)
健康増進のためなのに反対議決はおかしいと思う。農家へのフォロー体制を作り、喫煙率はゼロに持っていくべきだ。(51歳、女性)
これだから熊本県は田舎で古くさいと思われる。県議の選挙の時は誰が反対かを知って選びたい。(56歳、女性)

熊本県民は健康への関心が薄い。(23 歳、女性)
喫煙で病気が起こるのに、議決は信じられない。(52 歳、男性)
熊本県において、タバコ農家が多い実情で反対される理由もわからないでもないが、国が国民の健康を考えた上で出した計画に反対するのもどうかと思う。非喫煙者に対する健康管理について、どうお考えなのかと思う。(35 歳、男性)
中小零細企業にとって死活問題ではありますが、生計を維持できる転作・転業への援助を積極的に行いタバコ農家、小売業の支援を行う。そして、国の禁煙率低減目標に賛成し健康維持する。(53 歳、女性)
県議会の議決理由は不要と思う。タバコ事業は守られすぎだ。(45 歳、男性)
タバコ農家の転作や転業の支援を行い、生計の目途をつける方向にする。喫煙により空気を汚すのは許せない。(64 歳、女性)
身体に害あると思うから、タバコを出来たら、なくせばいいと思う。(30 歳、女性)
喫煙の環境がいまだに多いようにおもいます。一層のこと、全て禁煙にしてみてもいいかでしょう。受動喫煙者は、喫煙者よりもガンのリスクが高いと聞いたので、タバコを吸える環境を減らした方が良くと思います。(25 歳、女性)
県議会は全体のことを考えておらず、非常に残念。(46 歳、女性)
タバコ税やタバコ農家の状況も分かるが、国民の健康を保つことは、医療費の削減と健康という幸せは何ものにも代えられない。なぜ反対するのか理解できない。(61 歳、男性)
反対議決の意味がよくわからない。(22 歳、女性)
受動喫煙してしまうこと、それで健康を害してしまうのは悲しい。(30 歳、男性)
タバコ吸うのは反対！見苦しい！！農家には悪いけどタバコはマヤクと一緒！！(30 歳、男性)
喫煙率低減は大事なことであり、反対議決に関しては正当な理由が見当たらない。(27 歳、男性)
受動喫煙によって癌が発生するなら絶対吸う環境をなくすべき。お店や外でも煙を感じないような環境を備えるべきです。農業が低迷するのは分かるが、それなりに支援をすれば納得していただけるはず。(30 歳、女性)
葉タバコに変わる転換作物を考えるべきと思う。(76 歳、男性)
喫煙により生じる疾患は明らかで、また受動喫煙により生じる疾患もある。超高齢社会になる上で国の医療費も上がり、生活習慣病などの防げる疾患は一次予防の観点で防ぐことで、大いに削減に取り組むことができる。(22 歳、男性)
県議会はなぜ反対なのかわからない。(21 歳、女性)
人間の健康が一番大切だと思います。(21 歳、女性)
喫煙によって肺疾患になる患者は増え続けており、なかでも COPD は喫煙に起因することが多いので、喫煙者を減らすべきだと思う。(20 歳、男性)
喫煙率は 0% にしなければならない。(20 歳、男性)
県民の健康を考えると、反対決議には問題あり。(69 歳、男性)
国民の健康を第一に考えるべき。タバコ税を上げる必要があるのではないか。(40 歳、男性)
喫煙率低減目標設定の意味がわかりませんが、幼い子供がいる我が家では、喫煙ゼロを希望します。飲食店なども公の場は禁煙にして欲しいと願っています。(57 歳、女性)
タバコには依存性があり、喫煙者の周辺の人々に対して受動喫煙という望まざるものを強いるのに、議会はそんなに悠長に構えていても大丈夫なんですかね。(21 歳、男性)
国の目標に反対すべきではない。(67 歳、女性)
アメリカでタバコが売れなくなったので、インドネシアで宣伝して貧しい子供達が吸っているという話を最近

目にしました。お金の問題を最優先にすると、間違ったことがまかり通ってしまう。タバコの害について時間をかけて知らせていくしかないのでは…と思う。(49 歳男性)
喫煙率低減を実施することでタバコ産業に関わる人の生計は厳しくなるかもしれないが、喫煙する人がいることで受動喫煙などによる被害の方が大きい。健康はお金では買えない。(年齢不明、性別不明)
熊本県議会はバカなのでしょう。(37 歳、男性)
喫煙率はどんどん減らすべきと思う。減らしてほしい。(22 歳、男性)
信じられない恥ずべき議決である！(58 歳、女性)
県議会の議決に反対。(28 歳、男性)
県は国と同じように喫煙低減を進めてほしい。国の目標は無理を押ししているとは思えない。(57 歳、女性)
喫煙は健康を害するだけでなく 1 本の喫煙に 3 分ほどの時間を使い、1 日 20 本で計算すると 1 年間に 15 日前後喫煙に時間を使っていることになる。非喫煙者より生産性が低いと思います。禁煙賛成。(31 歳、男性)
喫煙率低減には多に賛成であるが、タバコ農家、販売店には何らかの説明と支援を考えるべきだ。喫煙率を低下させるよりも分煙を高くすることを最初の目的として達成してほしい。(27 歳、男性)
喫煙率低減に大いに賛成。(40 歳、男性)
熊本県は農業ではトップクラスであり、政界でも保守王国として皆が認めているところ、喫煙の弊害については医師会並びに大学などの調査・研究並びに世界保健機構等々の提言が確立されている。一方、ヘビースモーカー（1 日 40～60 本消費）であつても 90～100 歳以上に長寿の人もあるけど、それとこれとは全く別な問題であつて、タバコ規制枠組み条約条項 17 条を十分發揮して、県民の健康と幸せを守っていく努力が県議会にも必要であろう。(73 歳、男性)
考への視野が狭い議決で残念、情けないと思います。(31 歳、女性)
現在の流れからすると逆行するもの。(50 歳、男性)
タバコ葉から他の農作物へ転作も必要。県議会は恥ずべし。(40 歳、男性)
生活の維持は大切ですが、まず健康であることが基本だと思います。(49 歳、女性)
反対議決にもそれなりの理由があると思うが、国民・県民の健康を第一と思えば、今回の反対に対しては賛同しかねる。(80 歳、男性)
県議会議決は、時代に逆行するものと思う。(55 歳、男性)
原発と同じで 目標を決めたら国全体で進めていくしかない。(54 歳、男性)
農家の方たちは大変になるかもしれないが、議決は時代に逆境していると思う。県は県民全体の方々へシフトチェンジを大いに助けるべきだと思う。(47 歳、男性)
国の喫煙率低減には賛成である。タバコ農家等への必要な手当ては考えるべき。(62 歳、男性)
財源も大切と思うが、病気になったら金もかせげない。(26 歳、男性)
どんな業種もいろいろな問題を抱えながら自力で頑張っているのにタバコ事業のみを支援するような県の議決には反対。タバコをやめて病気の方の薬が効くようになったなど良い点が多いのに、なぜ反対するのが理解できない。(41 歳、女性)
体のことを考えると禁煙・喫煙率低減も正しいと思うが、タバコ農家の生活が困難になるため、補助をしっかりしてあげてほしい。(43 歳、女性)
県民の健康を第一に考えた結果の反対議決なのか、疑問が残る。(21 歳、男性)
反対議決はありえない。(47 歳、男性)
タバコ農家も時代に合わせて変わるべき。(21 歳、女性)
害でしかない。吸わない人にとって迷惑。(26 歳、女性)

長い視点から考えると、熊本県の考え方は今がよければいいという考え方。タバコ農家の方に対しても、援助も多少必要とは考えるが、受身の立場ではなく自分で今後のことを考えていく必要があるのではと思います。 (49歳、女性)
喫煙してもいいことがないから、何ですうのでしょうか?! タバコをなくせばいいのに。(26歳、女性)
財源を理由とする反対議決はおかしい。喫煙の被害は個人の問題だけではなく、受動喫煙の害をどう考えるか。ニコチン中毒で止められない人をどう考えるか。国による低減取り組みは大いに進めるべき。(30歳、女性)
喫煙は害しかない。葉タバコ農家へのバックアップは必要。(34歳、女性)
県下のタバコ農家に対する配慮もあるものとは思いますが、あまりに時代かけ離れた内容である。(44歳、男性)
国の喫煙率低減方針への反対はダメだ。農家へ別の作物の支援を行うべきである。(50歳、男性)
県議会議決は、とても変だと思う。(51歳、女性)
議決は時代と逆行していると思う。(31歳、男性)
医療費削減のために、反対議決には反対。(28歳、女性)
低減ではなく、撲滅であるべき。税金は不健康物質から得るものではない。(28歳、女性)
タバコが体を害するのは明らか。熊本県及び国ががん対策をする推進する一方、タバコ農家さん達へ経済支援と転作支援は必要。(39歳、女性)
タバコが悪影響をもたらすことが周知の事実である以上、国の喫煙率低減目標への熊本県議会の反対議決は恥ずべき事。国民の健康が大切。(26歳、女性)
昔タバコ農家だったところは自主的に転作をした。喫煙率はもっと下げてよい。(57歳、男性)
タバコ農家や財政のことにしか触れておらず、タバコがおよぼす健康被害についての記載がなく、議会は金のためにだけ、反対しているように感じる。がんの原因となるタバコなので、金よりも命の方が大切だと思う。 (20歳、男性)
議決は県民として恥ずかしい。(57歳、男性)
タバコは体に悪いと誰もが知っていることをなぜ禁止しないのか疑問だ。(36歳、女性)
タバコ産業に関わる人々の転職の受け皿づくりを考える必要がある。(53歳、男性)
県議会の主張のように飲食店を禁煙にしたからといって、売上が減少するとは思わない。お店に入って禁煙だから他のお店にするとという人がいるのかが疑問。通常はそのお店の料理が食べたいから行くのではないか。(20歳、女性)
現実的な分煙対策は必要だと思う。ただし喫煙率低下によって影響をうける業者に対してはしっかりと対策するべき。(20歳、女性)
タバコの喫煙率は下げるべきだと思う。(21歳、女性)
タバコはいやなので、喫煙率低減は努力してほしい。(56歳、女性)
タバコ生産者を守る方法として、タバコ農業を続けさせるのではなく、それに代わる生計維持対策をしていく方向で進めて欲しい。タバコを吸わない者としては、いつどんな現場に行っても、タバコの煙にさらされることのない社会を望む。(26歳、女性)
恥ずかしい議決である。(49歳、男性)
タバコなんか禁止でいいでしょう。税収を期待して禁止にできないのは国も県も同じ。(年齢不明、男性)
喫煙はいろんな疾患に関係しているのに反対する理由がわからない。(21歳、女性)
反対議決の理解に苦しむ。路上や飲食店でとても迷惑。(67歳、女性)
周囲にタバコ農家が多いが、そんなことを言っていたら肺がんなどの疾患が減らない。(30歳、女性)

国が喫煙率低下を目指す姿勢には大いに賛成できるが、根拠の部分が分かりづらいと思った。また喫煙者本人だけでなく、受動喫煙による害まで数値化できるともっと良い。しかし、タバコ農家にしてみれば、この政策は死活問題だと思うので、転作転業への支援は必須だと思う。(34歳、女性)
喫煙率低減、分煙化が望ましい。タバコ農家への支援も望ましい。(31歳、男性)
国が農家に対して援助をすべき。(77歳、男性)
財収は厳しいと思うが、タバコ産業の支援を行い、転作・転業をする。それは全てでなくとも良いと思う。めどが立つ農家、説明に納得した農家に対して。(23歳、男性)
県議会議決に、絶対反対。(61歳、男性)
県民の健康を考えると「反対議決」とは県議会は何を考えているのか。(67歳、男性)
喫煙率を12%ではなく、多くても10%以下にすべきである。(20歳、女性)
転作支援、補助金交付を行ってタバコ農家等の生計をサポートし、喫煙率低減目標には賛成すべきだ。(64歳、男性)
タバコは体に悪いのでやめてほしいです。(22歳、女性)
タバコは大きな財源かもしれないけど、体に悪いとわかっているから減らすように努力すべきだと思う。(20歳、女性)
喫煙の健康への悪影響を考えた場合、喫煙の撲滅へ県は国と協力しあうべきであろう。(64歳、男性)
結局、喫煙率が下がると、税収が減るから反対しているのではないかと思う。(22歳、女性)
熊本にタバコ農家がたくさんあることは知らなかったけれど、タバコが体に悪影響を及ぼすことは明らかなので、減らした方が良いと思います。(20歳、女性)
選挙のためと思うが、冷静に考えて世界的な方向へ。反対議決をすること自体、時代錯誤だと思う。(52歳、男性)
将来を担う子どものことを考えると、喫煙率低減に反対している大人たちは何を考えているのでしょうか。(46歳、男性)
受動喫煙による健康被害が明らかであるのに、県議会が一方だけをみて反対するのはおかしい。(62歳、男性)
国の方針に反対すべきではない。タバコに関わる人への転作転業は進めるべき。目先の利益にとらわれず、未来を考えた政治を行ってほしい。健康に関わる問題なので、タバコのない社会を目指してほしい。(35歳、女性)
タバコは高いし、肺ガンになって悪いことしかないので低減するべきだと思う。(20歳、女性)
現状維持も大切かもしれませんが、健康への影響と経済への影響が大きくなっている分、「改善」(喫煙率低下)について検討すべき。(38歳、女性)
やはり国民全体のことを考えると、県議会は別の方法を考えてほしい。(40歳、女性)
もっと将来を見直した方策を考えるべき。(58歳、女性)
将来の医療費削減、国民の健康増進が最優先。(54歳、女性)
何事もあちらが立てばこちらが立たずという状況にありますが、事、健康に関する問題もありますので、人に害を与えるようなことはやめた方がよいと思います。(60歳、女性)
喫煙には反対です。タバコ農家や小売店の支援をお願いしたい。(57歳、女性)
県議会の反対議決のことを知らなかった。あらゆる場でタバコの害を啓発する必要がある。(54歳、男性)
体に害のあるものは絶対にダメ。(70歳、女性)
農家のことを考えれば、喫煙率低減を行うことで生活苦になることが心配されるが、その農家へのサポートがしっかりできれば、喫煙率低減目標への閣議決定は賛成である。(20歳、女性)

タバコ事業、タバコ税については、国や地方の一般財源であるといっているが、その税の支援策を他に考えるべきではないかと思う。(57歳、女性)
議決は「世界的に」大きな問題だと思います。(52歳、男性)
タバコによって肺ガンになるリスクが高くなることはわかっているので、喫煙率を低下させることは病気の予防にもつながり良いと思う。(21歳、女性)
喫煙率低減目標は12%では少ないと思う。(34歳、女性)
葉タバコ農家への配慮を国がすべき。その他の意味のない事業、議員に税金使うな！やめろ！(22歳、男性)
子どもへの影響を心配する。(23歳、男性)
健康被害の視点で検討してほしい。転作支援にも力を入れて欲しい。(45歳、女性)
国全体の問題として捉えるべき。農家や小売店への支援は行うべき。(45歳、女性)
喫煙による医療費の負担が大きい、県の反対議決より国の将来的な考え方に賛成。(47歳、女性)
財源になるからといって健康に影響があるとわかっているものを放置すべきではない。喫煙は本人の自由だが受動喫煙しない環境づくりは必要。飲食店は分煙であることが望ましいが、やむを得ず禁煙にしたとしても売り上げが減少するとは考えにくい。禁煙を望む人が多くなってきていると思う。(30歳、女性)
税収の事より、喫煙に伴う医療費の削減を。(42歳、女性)
健康を第一に考えて欲しい。(48歳、女性)
健康管理を考えるべき。タバコ農家には支援を。(42歳、女性)
財政に関わるからといって、人体に害を及ぼすものをそのままに置いて良いのか疑問に思う。(21歳、男性)
葉タバコ農家や小売店の影響を考え、県議会では反対議決との結果となったと思われるが、国民の健康を損ねてまでも守るべきものはない。むしろ、転作・転業を促し支援すべきだと思う。(45歳、女性)
身体に害があるものを作らせたり、販売させたりして、税収を期待することには、反対。(47歳、女性)
喫煙率は減少傾向にありますが、吸う人はいますからタバコ産業への大きな打撃はないのではないかと思います。少し吸っている人がやめられる環境づくりをするのも一つの方法ではないかと思います。医療から禁煙は勧められないのでしょうか。(22歳、女性)
禁煙の推進は、タバコ産業への支援を前提に。(39歳、女性)
タバコ農家に支援を。(31歳、女性)
タバコが健康に悪いというのは誰もが知っていること。喫煙率低減に反対するつもりはない。しかし、国がそれを行うなら、しっかりと農家を支援すべきと思う。(20歳、男性)
農家は外国への輸出はできないのか。国内で他に利用する方法はないのか。日本だけで消費しなくていいと思うが、タバコは喫煙する人よりしない人への影響が大きく、タバコを嫌う人がいることを知っておいてほしい。(20歳、女性)
健康被害とタバコ農家を守ることは別に考えるべき。健康に悪いことを進める理由がわからない。(39歳、女性)
県議会の議決は恥ずかしい。健康な生活は何ものにもかえられない。(35歳、女性)
喫煙は”無差別テロ”と考える。タバコによる健康被害が科学的にも明らかとなっており、医療費への影響が大きい。日本の取り組みは、世界的に見ても、なまぬるい。(32歳、女性)
「税収が減る」とあるが、税金を必要のないところに使っているならば、まずそこを削減すべき。食糧自給率のことを考えれば、タバコ農家を作物の農家に支援して変えるべき。(20歳、男性)
体に悪いことは十分わかっていることなので、喫煙には反対です。また、受動喫煙も体に害を及ぼします。しかし、タバコ農家や販売店が失業することは生計が立ちませんので、国・県の援助は必ず必要と思われます。

(39 歳、女性)
タバコの損害が、タバコ税収よりはるかに上回ることを皆知るべきである。(38 歳、女性)
議決は葉タバコ農家に配慮されたと思いますが、葉タバコ農家の数より多い一般県民の健康のことを考えられたのでしょうか。葉タバコ農家の転業が成り立つ助成をするのはお金がかかるから、お金のかからない反対決議なのではと思ってしまいます。県知事を尊敬してきましたが、がっかりしました。(64 歳、女性)
タバコ農家の多い県で転業転作は、大変な事だと思うが、早めに対策を考えるべきだと思う。(65 歳、女性)
県議会はなぜ反対するのか分からない。(30 歳、女性)
県議会の反対議決において農家の方々が職を失うとありますが、このまま現状維持をしていれば、結果的に病気になる患者が増えて、経済面でより大きな損害になると思う。(27 歳、男性)
タバコはこの世の中に必要ないものだと思う。人に迷惑をかけていること、タバコの害を、皆知る必要があると思う。(21 歳、男性)

熊本県議会による「国の喫煙率低減目標」への反対議決 に関するアンケート調査・集計結果

⇒ http://square.umin.ac.jp/nosmoke/2012kengikai_chousa.pdf



(1) 主に県議会議決に対する「反対」意見

熊本県議会による「国の喫煙率低減目標」への反対議決に関するアンケート調査
自由意見記載事項一覧

(2) 主に県議会議決に対する「中間的」意見

熊本県にとってタバコ関連産業は重要な産業の一つと思われる。「生計を維持できる転作転業」について、昨今の状況を見る限り（たとえば TPP）そう容易なことではないし、ポイント的な援助でなく、継続できるか疑問。また、他産業への圧迫にもつながるのではないかと。受動喫煙については0%を目指すべきと思うが、自発喫煙については個人の裁量に任せる部分もあってよいと思う。(61歳、男性)
タバコによる健康被害を理解した上で喫煙するのであれば、禁煙を強制できないと思います。受動喫煙リスクを少なくするため、分煙設備や飲食店店頭への分煙席の有無の掲示などを積極的に進めてもらいたいです。(25歳、女性)
子供を持つ親として、周りで喫煙されることはやはり快く思わないが、タバコ関連で生活されている方々がいるのも事実であるし、絶対喫煙するなどは言えない。ただなくなる(タバコ喫煙)のであれば健康にも一番だと思う。(34歳、男性)
タバコ農家が親戚にいます。タバコ農家の多くは高齢のため転作・転業も難しいのではないかと思います。何か他に支援できる方法があればいいのですが。(38歳、女性)
(喫煙率低減に対して) 支持はするが%で示すのであれば、がん対策推進基本計画の数字の根拠を示してほしい。タバコ販売を認めている国の責務として農家の支援は必要だと思います。(27歳、男性)
タバコ事業にかかわる利益がいろいろなところつながっているのが難しいかと、何となく感じます。(42歳、女性)
子供を持つ親として周りで喫煙されることはやはり快く思わないが、タバコ関連で生活されている方々がいるのも事実であるし、絶対喫煙するなどは言えない。ただタバコがなくなるのであれば健康にも一番だと思う。(34歳、男性)
タバコ農家の支援は必要と思うが、その他はわからない。(38歳、女性)
タバコ農家の今後の生計を考えると・・・自分は吸わないが、周りでタバコを吸われることにあまり抵抗がないので関心がなかった。今後考える必要があると思う。(38歳、女性)
体のためには国の意見に賛成できるが、タバコ農家のことを思うと反対議決に賛成である。(31歳、女性)
健康面を考えるとタバコは必要ないと考えるが、これまでタバコにかかわる職業の方々のことや税金に関することについてきちんと代替案が提示されるとよいと思う。また、タバコは嗜好品なのであることから主流煙(吸引)の責任と副流煙からの保護が必要で分煙制度をきちんと取ってほしい。(59歳、女性)
県議会の反対理由は理解できるが、ただ反対するのではなく国よりも厳しい分煙目標を定めて実施するなど、健康維持と喫煙の自由を両立させる建設的な方策を検討すべきだと思う。(45歳、女性)
現実的な分煙対策の例を示したらどうか。(年齢不明、女性)
それぞれの生活があるため、白黒に分けるのは難しい。(34歳、男性)
タバコ農家の問題が難しい。(54歳、女性)
国は喫煙率低減目標としているならそれなりにタバコ農家や小売業への支援は当然だと思います。(39歳、女性)
アンケートそのものが的外れもいいところ。ただでさえ禁煙ブームでタバコ農家の収入が下がっており、さらにTPPの懸念で1次産業が苦しいのにタバコ農家や小売業の転作・転業支援が実的に出来るとはとても思えない。分煙政策さえきちんと出来ていればタバコ税収も下がらずにすむ。さらに疾患と喫煙の因果関係を証明する技

<p>術を確立できれば、喫煙者の医療負担3割から7割にアップすることで医療保険の負担も軽減できると思う。喫煙率が無茶苦茶高いパチンコ屋や娯楽施設への対策に頭を使うべき。そして喫煙ばかり取り上げられるのにアルコールが取り上げられない点についても国、県共に鼻で笑える。飲酒による事故や事件を受けて条例等の対策を取らない、もしくは取っても住民に伝わっていない点を見ることで喫煙に対する本気度が垣間見える。こんな幼稚なレベルで転業を進めていいなら自分でも出来る。こんな目標も、反対議決も無意味。(33歳、男性)</p>
<p>友人が葉タバコ農家で、低減目標には心から賛成できない。国が生計の維持援助を行って欲しい。(36歳、女性)</p>
<p>もともと喫煙しようと思ったことがないので不要と思い、今の時代このような議論がされていることに時間がかもったいないと思う。ただ、今までの農家さんの対応は考えるべきでしょう。(45歳、男性)</p>
<p>我が家には幸い喫煙者はいないが、タバコ農家は「喫煙反対」ばかり言われては困ると思う。(51歳、女性)</p>
<p>日本国民である以上、死活問題となるような不安を与えてはならないし、それなりの助成はすべきであり、ガン対策と同様に葉タバコ農家への気配りは絶対大切。(60歳、女性)</p>
<p>タバコ農家にも生活があるため反対議決も理解できる。国はタバコ農家に対して支援すべきであろう。(30歳、男性)</p>
<p>マナーを守って吸ってくれるなら正直どちらでもいいです。(22歳、女性)</p>
<p>タバコ規制枠組み条約があるなら、それに従い支援を実施すべきと考える。一方、対象農家や小売業に説明し、理解を得られなければムリに実施すべきでないと考える。(21歳、女性)</p>
<p>厚労省、熊本県議会の言い分は分かります。どちらを優先すべきかは、難しいと思います。(29歳、男性)</p>
<p>喫煙の自由は個人で決められること。受動喫煙防止は必要である。元々喫煙自体体に良いものではない。医療費へも影響があるのではないか。(48歳、男性)</p>
<p>転作転業は当事者には簡単なことではなく、議決への反対は難しい答えですが、国や県は総体的に対応して欲しい。(32歳、女性)</p>
<p>議決はタバコ栽培への配慮でしょうか。(45歳、男性)</p>
<p>国が農家支援の対応を出してから低減目標を出すべき。(28歳、女性)</p>
<p>反対議決の内容はよく理解できますが、時代の流れに対応すべき、対策を講ずべきかと思います。しかしながら、すぐには出来ないことでしょう。飲食店や職場など公共の場での分煙対策にもそれなりの補助が必要かと思えます。喫煙目標をかかげるのはもちろんですが、タバコに携わって来た方々の対策も同時に行わなければ意味がありません。(57歳、女性)</p>
<p>禁煙目標をするのであれば、タバコによって生計を立てている人達の援助をすべき。(35歳、男性)</p>
<p>葉タバコ耕作を行っている農家の方を支援できる方法があるから出したのか、なかったらその代替策を考えてから案を出してほしい！(22歳、男性)</p>
<p>タバコを吸う人は自己責任でいいと思います。ただ、受動喫煙防止のための分煙をしっかりとやってほしい。(21歳、男性)</p>
<p>タバコを吸う人は自分が肺がんになりやすいと自覚して吸っていると思うので、他者へ迷惑のない範囲で喫煙すればよいと私は思う。(22歳、男性)</p>
<p>タバコ事業への援助、補助が確立されたら意見が変わると思う。(20歳、男性)</p>
<p>タバコを減らすことに関しては賛成ですが、私自身タバコを吸っていたので、やめるには何らかのきっかけがないと本当に難しいと思います。もう少し愛煙家への声掛けや働きかけを。タバコの値上げだけにかたよらず考えてほしいと思います。(42歳、女性)</p>

健康被害を別にすれば、言い分がわからなくもないが・・・。(56歳、男性)
県議会の議決に対することより、タバコ農家また、商業関係への手だてを考えていくべきではないか。(64歳、男性)
医療費を削減できた分をタバコ関連産業にも多少還元を。(29歳、男性)
産業として成立している以上、理想は難しい。分煙ができれば数値にはこだわらない。(33歳、男性)
タバコ産業で生計を立てている方々の対応を考えてから動くべきだと思う。(34歳、女性)
周りにタバコ農家が多いので強くは言いにくい。(25歳、女性)

熊本県議会による「国の喫煙率低減目標」への反対議決に関するアンケート調査・集計結果

⇒ http://square.umin.ac.jp/nosmoke/2012kengikai_chousa.pdf



(2) 主に県議会議決に対する「中間的」意見

熊本県議会による「国の喫煙率低減目標」への反対議決に関するアンケート調査
自由意見記載事項一覧

(3) 主に県議会議決に対する「賛成」意見

喫煙率低減には反対。(44歳、男性)
嗜好品なので個人の自由であり、それを奪うことは日本国憲法に反すると思う。国が決めることは他にあるのでは(放射能の量など)。(46歳、女性)
人が他人を制限するのは言葉言い換えれば差別。ポイ捨てとかマナーさえ守っていけばいいと思うし、あれこれ他人が言うとか腹立つ。(20歳、男性)
法律にふれていません。(29歳、男性)
タバコ自体、嗜好品なので自由にすべきだし、データ自体も過度に偏見をはらんでいると思われます。(35歳、男性)
タバコ農家が救われる方策を検討した上で目標は出すべき。(24歳、女性)
タバコ農家に対する支援が乏しい。(48歳、男性)
愛煙家にもやさしく。(39歳、男性)
喫煙は他人に迷惑かけない限り、自由意思によってのみ選択できるものである。国が医療費削減を理由に増税をすることはおかしい。「取りやすいところから取る」だけのことだと思う。一方、タバコ農家や販売店を保護する必要はない。(42歳、男性)
葉タバコ耕作者のために仕方がないと思う。(43歳、男性)
国や地方自治体や禁煙を勧める医師など、正直言って目障りであり、吸う・吸わないは個人の自由であり、肺ガンになろうが心筋梗塞になろうが、吸う人が知っていてやっていることなので、受動喫煙だのタバコの煙に近寄るなど言いたい。敷地内禁煙だの馬鹿な施設もあり、地球上の空気は皆のものだ！ふざけるな！という意見。(43歳、男性)
喫煙者は自己責任でタバコを吸っているのであって、周囲の人に迷惑をかけなければ喫煙者の人数を減らす必要はないと思う。(20歳、男性)
それよりも他にやることがあると思う。(20歳、男性)
タバコは嫌いだが、国の重要な財源になっているのでいいと思う。(25歳、男性)
喫煙については厳しくしなくても良いと思う。(44歳、男性)
熊本がタバコ産業によって経営しているなら反対議決してもいいと思う。国は単に税金がほしいだけだし。(21歳、女性)
タバコも1つの税源なので、喫煙率を下げすぎて他の税が上がるのが心配。(27歳、男性)
タバコは個人の自由だから、いちいち国が干渉することではないと思う。仕事がなくなったり、生計が苦しいのなら別の仕事をすればいいだけで、税金をそこに使うべきではないと思う。国が干渉しなければ税金で助成する必要もなくなると思う。(21歳、女性)
嗜好品に対する自由は守られるべきなので、反対議決を支持します。(36歳、男性)
今でも十分分煙できているので、これ以上タバコを吸う場を減らすのはかわいそう。現状維持でよいと思う。(23歳、男性)
喫煙は飲酒と同様に個人の嗜好によるものと考えてるので、国が規制する様な内容のものではないと考える(指導はよいが・・・)。熊本県の反対議決は、熊本の実情を反映したものであると認めます。(40歳、女性)
タバコだけが悪いとは思いません。(42歳、男性)

<p>熊本県議会決も一理あると思う。喫煙する人は自分で分かっているから吸うのだから。他人に迷惑を掛けなければ喫煙はよいのでは。自己責任。タバコだけが病気の原因の一つではないし、正直、国は手っ取り早いところからしか税をとらないし、数値で表されるものしか評価されないのでは・・・と思う。(37歳、女性)</p>
<p>健康の悪影響など喫煙することによって多くの問題があることは認識している。ただ、多くの喫煙者がマナーを守り肩身の狭い思いをしているにもかかわらず、もしくはタバコ全てを悪者とするような極端な行動には嫌悪感を覚える。今回の県議会の議決については、農家や小売店への何の支援もない状況でのものであり、仕方ないものとする。一方の考えだけでなくトータルで考えたうえで政策を進めていく必要がある。(年齢不明、男性)</p>
<p>喫煙率を減らしたいというなら国は対策を十分に論じてから行うべき、今の状況では不可能。(21歳、男性)</p>
<p>大人だから全て自己責任。(68歳、男性)</p>
<p>県として県の重要であると考えている作物の保護を訴える事は悪いことではないと思います。(41歳、男性)</p>
<p>国が低減目標を決めても国民は守らないと思います。TPP 法案で輸入したりして吸う(口にする)確率は減らないと思います。(42歳、男性)</p>
<p>タバコ農家への支援があれば良いが、国の決まりであるからと減らすのはいけないと思う。(30歳、女性)</p>
<p>数値設定に根拠がない。(26歳、男性)</p>
<p>タバコ関連死に関してのデータの信憑性に疑問。12%の喫煙率にすることの効果を出すべき。嗜好の問題であり、マナーを守れば、自己責任と思う。(29歳、男性)</p>

熊本県議会による「国の喫煙率低減目標」への反対議決に関するアンケート調査・集計結果

⇒ http://square.umin.ac.jp/nosmoke/2012kengikai_chousa.pdf



(3) 主に県議会議決に対する「賛成」意見

熊本県議会による「国の喫煙率低減目標」への反対議決に関するアンケート調査
自由意見記載事項一覧

(4) 主に喫煙全般に関する意見

喫煙者は煙草を吸うことを権利と言いますが、周囲に迷惑をかけない事が前提です。(46歳、男性)
税収の減少及びタバコによる収益を見込める団体、個人等への国の配慮も少しは必要と思うが、やはり世界的な流れの中では、国家及び公共団体の援助は必要ないと思う。(49歳、男性)
最低限のマナーを守るようにしたい。(51歳、男性)
マナーの問題です。(47歳、男性)
飲食店での喫煙率も0%にしてほしい。(20歳、女性)
タバコは迷惑。苦しい。(26歳、男性)
市職員、医療関係者はなるべく喫煙をやめるべきだと思う。(21歳、女性)
喫煙は自己の責任。(21歳、男性)
職場はまでも、公的機関・飲食店など子供が入るような場所は禁煙にすべきだと思います。(20歳、男性)
タバコは体によくない。(21歳、女性)
受動喫煙をなくすこと。(66歳、男性)
タバコの値段をもっと高くしてほしい。(21歳、女性)
熊本は分煙ができていないのでしっかりしてほしい。(21歳、女性)
本人の気持ち次第。吸いたければ吸えばよい。(59歳、女性)
喫煙所は要らないと思う。(23歳、男性)
分煙対策はいらない。家で吸うべき。喫煙規制でいい。(21歳、男性)
喫煙はしない方がよい。(78歳、男性)
タバコは販売禁止とする。(57歳、男性)
タバコはやめるべき。(年齢不明、男性)
「タバコは百害あって一利なし」です。(49歳、女性)
すべて禁止にする。(65歳、男性)
ニコチン中毒は病気です。百害あって一理なし。法律で全面禁止すべきである。(45歳、男性)
県議会議員へのタバコ産業からの資金の影響を明らかにできないことも問題。事実を明らかにするマスコミもタバコ産業の影響を受けているのではないか。(44歳、男性)
喫煙は個人の自由で喫煙したい人は喫煙をすればよい。(35歳、女性)
喫煙者は、受動喫煙の害を考えているのかと思う。(51歳、女性)
税収がある。喫煙による疾患は自己責任として自費。飲食店等のタバコ規制がないのは抵抗を感じる。(60歳、女性)
タバコは臭う。(30歳、男性)
自分は喫煙しないので分煙さえしてもらえば、税の問題や葉タバコ耕作の方を考えると反対してもいいと思う。(25歳、男性)
喫煙者にはそれなりの意見があると思うので、喫煙者の意見も少しは尊重すべきと思う。(23歳、男性)
喫煙および受動喫煙の影響は、喫煙者の努力や様々な治療でなくすことが可能であり、その一環としてさらなるタバコ税の引き上げや有料喫煙所の設置がある。それが経済的な寄与にもつながる。(28歳、男性)

喫煙するのは本人かもしれないが、作って吸うように仕組んだ国や県も悪い。(65歳、男性)
禁煙を目指すのであれば、分煙の上1箱5000円にすればよい。タバコ農家や税収を守るためにも必要です。代替りの改革を実施する必要がある、別の問題と感じました。(38歳、男性)
公的機関は全て禁煙にすべき。(39歳、男性)
自己責任、競争原理が働けば自治体の補助介入必要なし。(39歳、男性)
国民の健康の為に常に啓発することは大切です、と考えます。(61歳、男性)
学校(特に小、中、高校)において教師や部活の指導者に、タバコのことに関して無関心な者が多い。学校は全て禁煙にすべき。(47歳、男性)
喫煙するのは自由だが他人に迷惑かけるな!(21歳、男性)
タバコの副流煙に辟易しています。飲酒などは害も自身の問題で済まされるが、タバコは周囲の人間に被害を及ぼすことがあるので、受動喫煙「0」を目指して実現してほしい。(51歳、女性)
タバコで精神が安定する人もいると思う。特に精神科の方々は沢山吸っておられる。(21歳、女性)
税率をもっと上げるべき。医療費がバカにならない。(21歳、男性)
もっといろいろな情報を国民に公開すべきではないでしょうか。(20歳、男性)
「国民の健康のため」を理由に低減させようとしているが、国の医療費をへらすことが目的だということをもっと公にすべき。また国民に規制をかけ生活を苦しめる前に、政治家など国のトップの人たちの喫煙の現状を明らかにし、トップから変化させていかないと理不尽だと思う。(21歳、女性)
国に喫煙率低減目標が立てられれば、タバコ農家の方の収入がなくなり、というどちらの視点に立って決められることならば、農家の方の仕事についても考えた方がいいのではと思いアンケートに答えました(40歳、女性)
健康への有害事例を具体的に示すべき。(46歳、男性)
国が喫煙率を下げようとして喫煙場所をなくしているため、喫煙マナーが悪くなり、タバコのポイ捨てが多くなっていると思う。(37歳、男性)
喫煙者は煙害を与えないで欲しい。迷惑。(33歳、男性)
この世の中からタバコがなくなるとうれしい。(40歳、女性)
若者の禁煙を厳密に行う必要がある。(75歳、男性)
分煙スペースも確保できれば、喫煙しない人への害はないのでは。(28歳、女性)

熊本県議会による「国の喫煙率低減目標」への反対議決に関するアンケート調査・集計結果

⇒ http://square.umin.ac.jp/nosmoke/appeal/2012kengikai_chousa.pdf



(4) 主に喫煙全般に関する意見